

地理総合、地理探究

(解答番号 ~)

第1問 穀物の生産や消費は、自然環境や生活文化にかかわり、地球的課題にも結びついている。これに関する次の問い合わせ(問1~4)に答えよ。(配点 13)

問1 次の表1は、三大穀物の輸出状況について示したものであり、ア～ウは、小麦、米、トウモロコシのいずれかである。作物名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

表1

(単位：%)

	世界の生産量に対する 輸出量の比率	主な輸出元地域と その地域が世界全体の輸出量に占める割合	
ア	24.4	ヨーロッパ	57.9
イ	16.8	中央・南アメリカ	43.1
ウ	5.7	アジア	78.2

輸出量には同一地域内の国・地域への輸出量を含み、ヨーロッパの数値にはロシアを含む。
統計年次は2019年。FAOSTATにより作成。

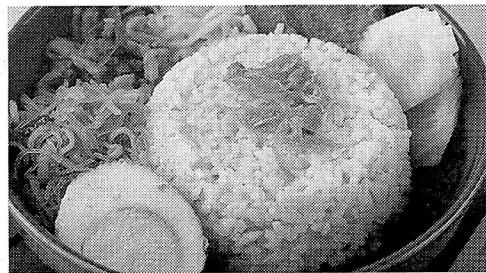
	①	②	③	④	⑤	⑥
小麦	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
米	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
トウモロコシ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 次の写真1は、後の図1中の地点A～Dの周辺のいずれかでみられる、米を使った特徴的な料理を撮影したものである。地点Cの周辺でみられる料理として最も適当なものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。



米を魚介類やトマトと一緒にオリーブオイルで炒めて炊いている。

①



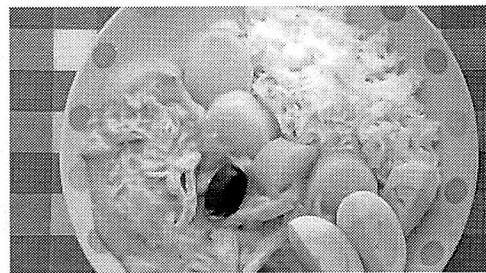
米をココナッツミルクで炊き、ゆで卵や野菜とともに盛り付けている。

②



醤油で味付けしたモチ米や豚肉を、笹の葉にくるんで蒸している。

③



ゆでたジャガイモと米に、鶏肉とトウガラシの入ったソースをかけている。

④

写真 1

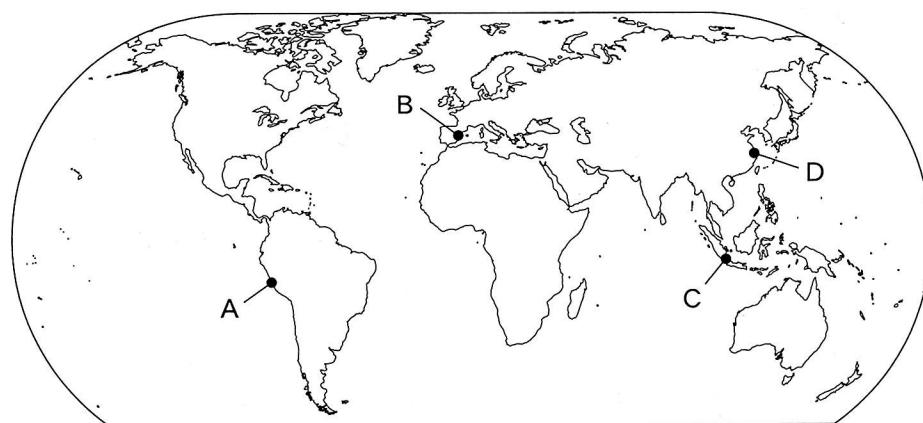


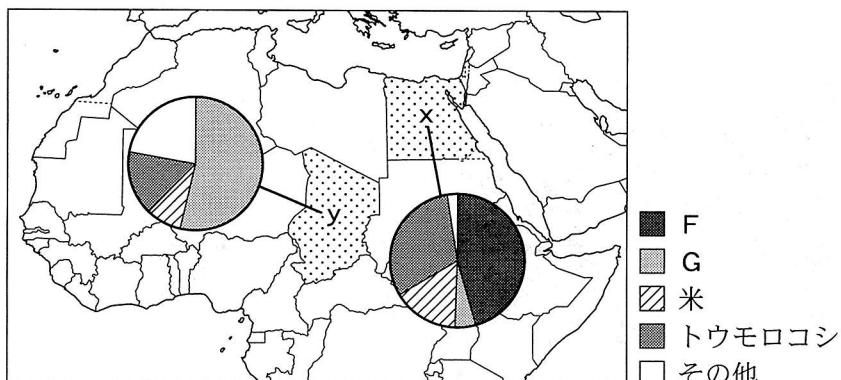
図 1

地理総合、地理探究

問 3 自然環境に応じて、栽培される作物や栽培方法には特徴がみられる。次の図2は、アフリカのx国とy国における主な穀物の収穫面積の割合を示したものであり、凡例FとGは、小麦とモロコシ(ソルガム)のいずれかである。また、両国の穀物栽培について述べた文章中の空欄力には、灌漑施設と天水田^{かんがい}*のいずれかが当てはまる。小麦に該当する凡例と空欄力に当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

3

*灌漑施設を用いず、雨水のみに依存する水田。



統計年次は2020年。FAOSTATにより作成。

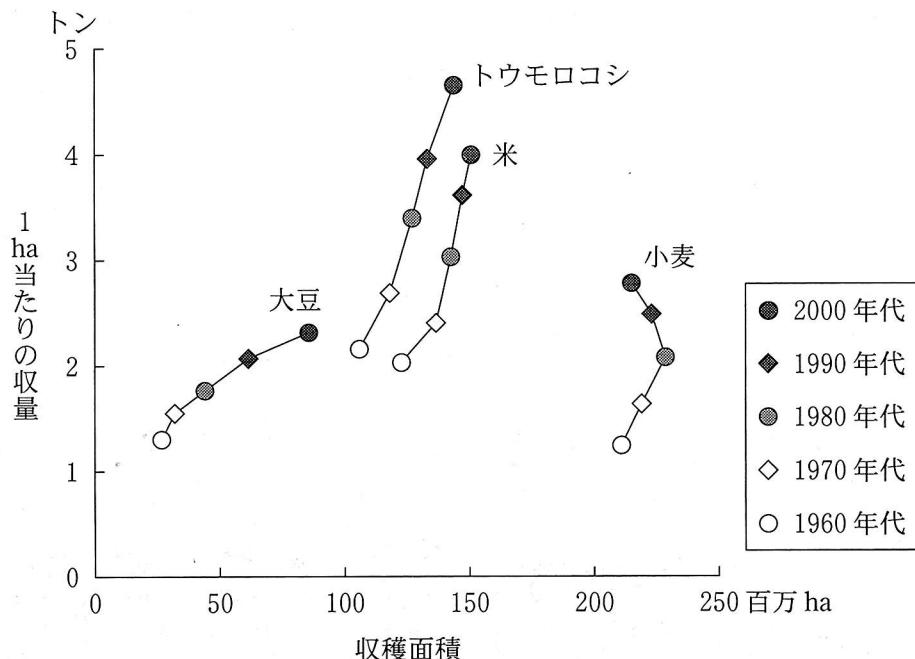
図2

両国では栽培される穀物とともに、水環境などを背景に栽培方法にも特徴がみられる。例えば、x国における稲作では、主に(力)が利用されている。

	①	②	③	④
小麦 力	F 灌漑施設	F 天水田	G 灌漑施設	G 天水田

問 4 作物の栽培は、様々な地球的課題と結びつきながら変化してきた。次の図3は、世界における三大穀物と大豆について、収穫面積と1ha当たりの収量の変化を示したものである。図3に関することがらについて述べた文章として下線部が最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

4



収穫面積と1ha当たりの収量はそれぞれの年代の平均値を示している。

『アジア経済研究所調査研究報告書2010』により作成。

図3

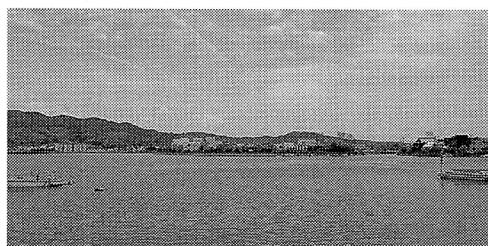
- ① 大豆は、三大穀物と比べて、1960年代から2000年代にかけて最も収穫面積が拡大した。これは、気候変動によって栽培適地が拡大したことが主な要因と考えられる。
- ② トウモロコシは、他の作物と比べて、1960年代から2000年代にかけて1ha当たりの収量が最も増えた。近年の増収は、遺伝子組み換え技術の導入などが要因と考えられる。
- ③ 米は、1960年代から2000年代にかけて1ha当たりの収量が3倍以上となった。この間の増収は、「緑の革命」をはじめとする技術革新などが要因と考えられる。
- ④ 小麦は、1980年代から2000年代にかけて他の作物への転換などによって収穫面積が減少した。これは、世界の食料需要に対して十分な小麦の供給が行われたことが主な要因と考えられる。

地理総合、地理探究

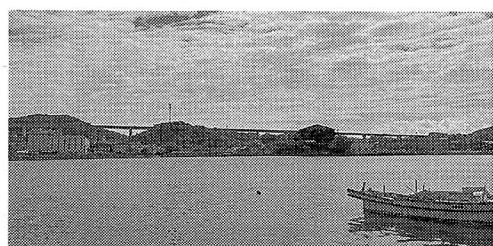
第2問 広島県の高校に通うセイヤさんたちは、愛媛県今治市の地域調査を行つた。この地域調査に関する次の問い合わせ(問1～4)に答えよ。(配点 12)

問1 西瀬戸自動車道(しまなみ海道)を通って今治市にやってきたセイヤさんたちは、造船所が立地する波止浜^{はしひま}周辺を観察した。次の写真1は、後の図1中の地点A～Dのいずれかから矢印の方向を撮影したものである。地点Aに該当するものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。

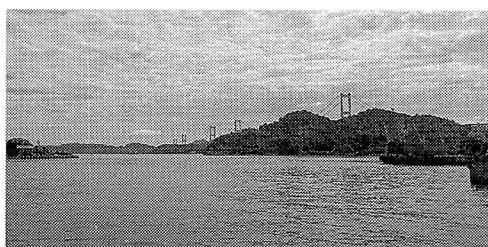
5



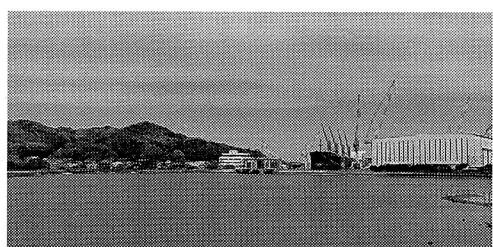
①



②



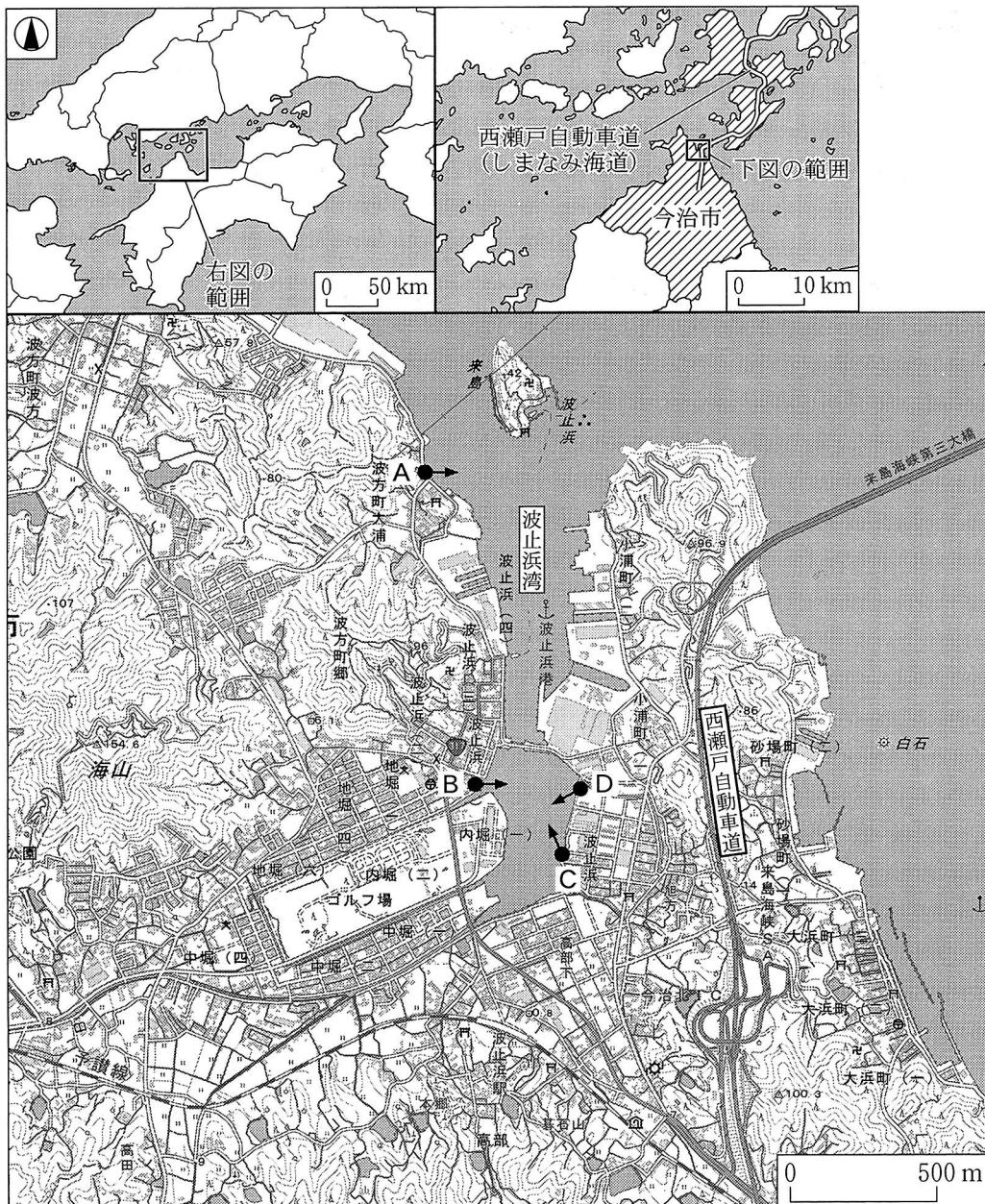
③



④

写真1

地理総合、地理探究



地理院地図により作成。

図 1

地理総合、地理探究

問 2 セイヤさんたちは、しまなみ海道のような交通インフラの整備が及ぼす影響を考えた。1988年に岡山・香川県間、1998年に兵庫・徳島県間、1999年に広島・愛媛県間が、陸路ですべて結ばれた。次の表1は、四国外から四国への訪問者数のうち、幹線バスと幹線旅客船の利用状況*をまとめたものであり、F～Hは、徳島県、愛媛県、高知県のいずれかである。県名とF～Hとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

6

*通勤・通学目的を除く。

表1

(単位：人/日)

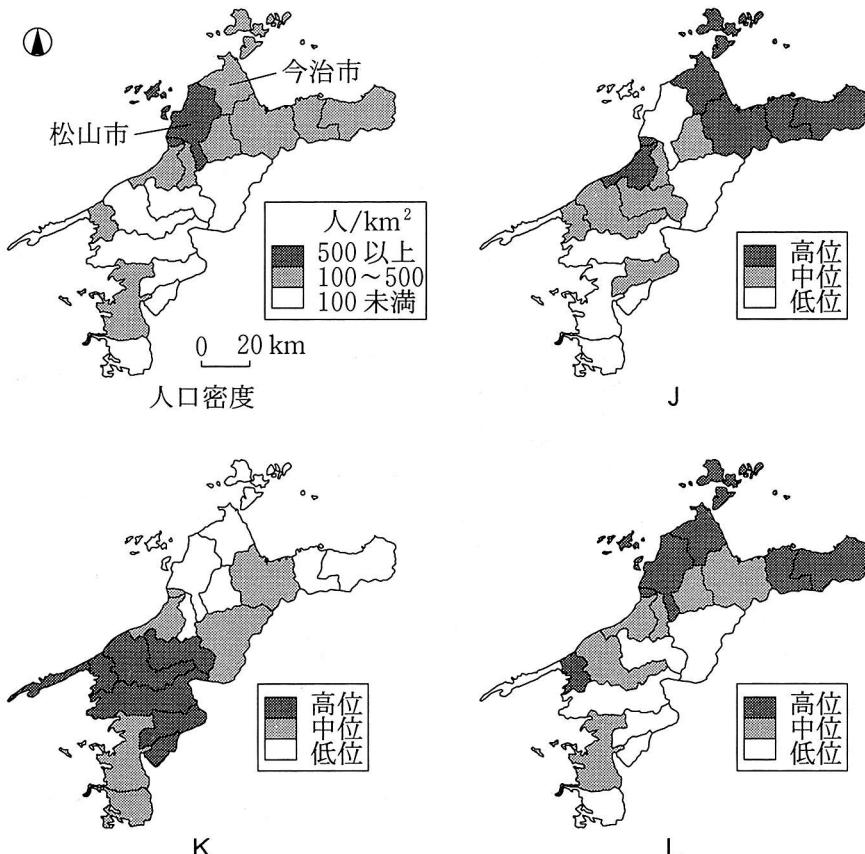
		幹線バス	幹線旅客船
香川県	1995年	116	1,374
	2015年	984	1,621
F	1995年	165	579
	2015年	577	28
G	1995年	218	5,130
	2015年	725	909
H	1995年	317	2,484
	2015年	1,614	81

全国幹線旅客純流動調査により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
徳島県	F	F	G	G	H	H
愛媛県	G	H	F	H	F	G
高知県	H	G	H	F	G	F

問 3 セイヤさんたちは、今治市の産業構造を県内の他地域と比較するために、統計データを用いて次の図2を作成した。図2中のJ～Lは、 1 km^2 当たり事業所数、第二次産業就業者割合、1人当たり農業産出額のいずれかである。指標名とJ～Lとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

7



統計年次は、 1 km^2 当たり事業所数が2021年、それ以外が2020年。
国勢調査などにより作成。

図2

	①	②	③	④	⑤	⑥
1 km^2 当たり事業所数	J	J	K	K	L	L
第二次産業就業者割合	K	L	J	L	J	K
1人当たり農業産出額	L	K	L	J	K	J

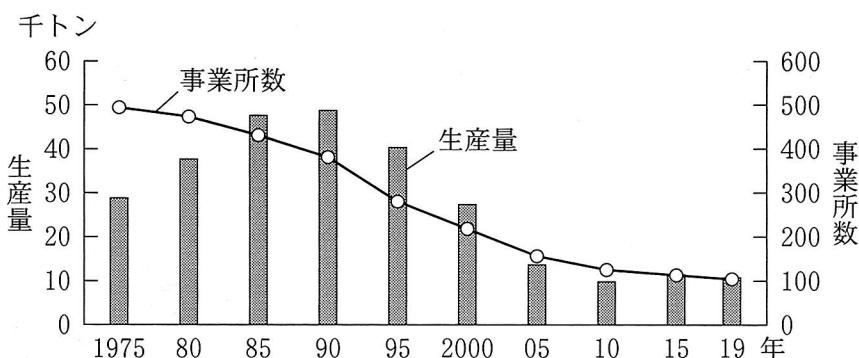
地理総合、地理探究

問 4 高校に戻ったセイヤさんたちは、地場産業の変化を検討するために、国内におけるタオルの生産量や輸入割合などの推移に関する次の資料1を作成した。

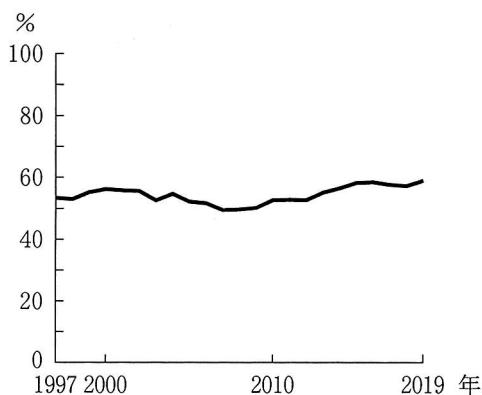
資料1をみてセイヤさんたちが話し合った会話文中の空欄Pには語句アとイのいずれか、空欄Qには語句x～zのいずれかが当てはまる。空欄PとQに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

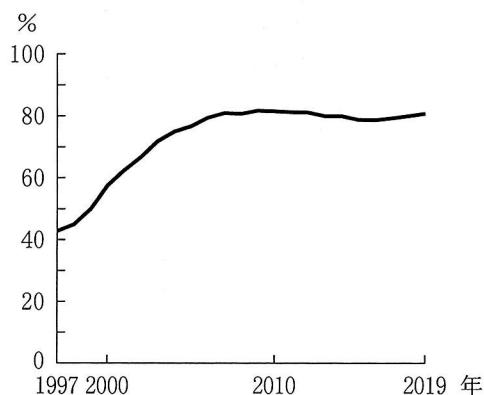
資料1



今治産地におけるタオル生産量と事業所数の推移



国内のタオル生産量に占める
今治産地の割合の推移



国内のタオル供給量に占める
輸入品の割合の推移

今治産地におけるタオル生産量と事業所数は、今治タオル工業組合に所属する企業のもの。今治タオル工業組合の資料により作成。

地理総合、地理探究

セイヤ 「今治市では複数の造船所をみたけど、織維工場もあったね。タオル製造業を例に、地場産業の変化について考えてみよう」

ヒトミ 「タオル製造業には様々な工程が含まれ、主に中小企業によって産地が形成されているようだよ。今治産地では、1975年から1990年までタオル生産量が増加しているね。この要因として、主に(P)が進められたことがあると考えられるよ」

セイヤ 「1990年代半ば以降になると、生産量は減少傾向に変わっているよ。今治産地のタオル製造業は、主に(Q)との価格競争の激化により、大きな影響を受けたと考えられるね」

ヒトミ 「この対応策の一つとしてブランド化が図られて、2007年に『今治タオル』が地域団体商標に登録されたよ。他の地場産業の動向も考えてみたいね」

(P)に当てはまる語句

- ア 各事業所における生産設備の大型化
- イ 複数の事業所による作業工程の分業化

(Q)に当てはまる語句

- x 国内の他産地
- y 先進国の産地
- z 発展途上国の産地

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	ア	ア	ア	イ	イ	イ
Q	x	y	z	x	y	z

地理総合、地理探究

第3問 世界の自然環境と自然災害に関する次の問い合わせ(問1～6)に答えよ。

(配点 20)

問1 次の図1中の①～④は、地殻変動がみられるいくつかの地域を示したものである。また、後の文アとイは、いくつかの地域における自然災害や気候変動の影響について述べたものである。アとイの両方が当てはまる地域を、①～④のうちから一つ選べ。

9



図1

- ア 海洋プレートの沈み込みに伴う火山や地震の活動が活発であり、広範囲に津波被害をもたらす海溝型巨大地震が発生する。
- イ 最終氷期に拡大した氷河の影響で形成された氷河湖やモレーンが、山麓の平原に多数分布する。

問 2 次の図2中の火山A～Dにおける、1990年以降最大規模の噴火の影響に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、最も適当なものを一つ選べ。 10

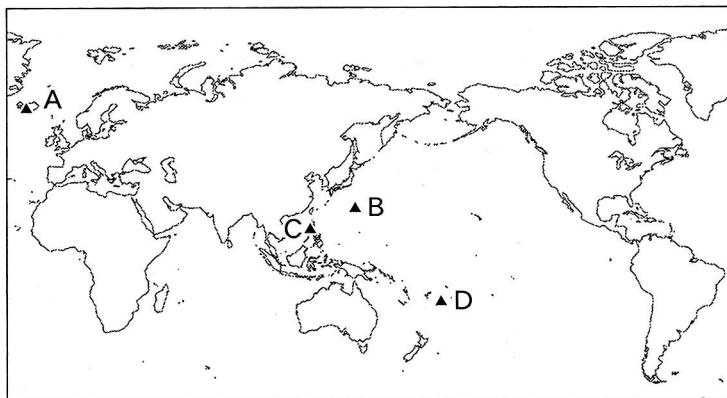


図 2

火山噴火は、噴火直後には、噴石や溶岩流などによって周辺に影響を及ぼすが、それ以降については、影響の及ぶ範囲や時間が異なる。火山Aの噴火では、噴煙が高度10km以上にまで達した。偏西風に流された火山灰の影響により、①北海周辺の空域が数年間にわたり飛行禁止とされた。火山Bの噴火では、大量の軽石が噴出し海流に乗って漂流した。軽石は、②日本の太平洋岸に数か月後に漂着し、船舶の航行や漁業などに影響を与えた。火山Cの噴火は、世界最大規模であり、大量の火山灰やガスを放出した。これによる気温変化は、③世界中で数時間後に観測され、異常気象を引き起こした。火山Dの噴火は、爆発の衝撃により大きな潮位変化を引き起こした。潮位変化は、④太平洋の沿岸地域では数週間後に観測され、浸水をもたらした。

地理総合、地理探究

問 3 次の図3中の都市群F～Hの降水に関する指標を後の図4に示しており、図4中の凡例力～クは、ケッペンの気候区分における三つの気候帯を示している。力～クとF～Hとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

11

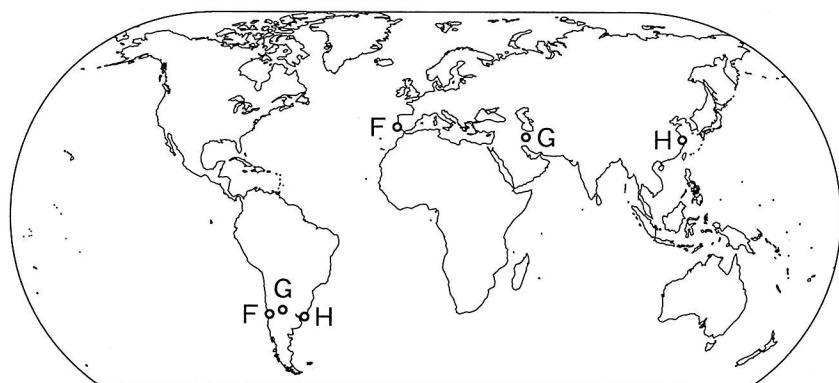
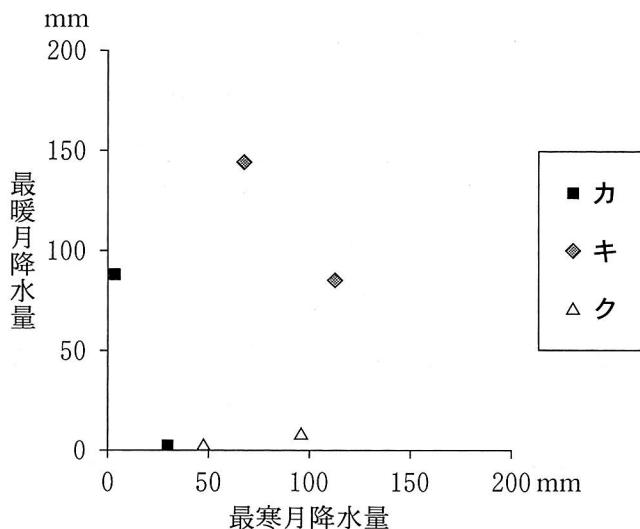


図3



気象庁の資料により作成。

図4

地理総合、地理探究

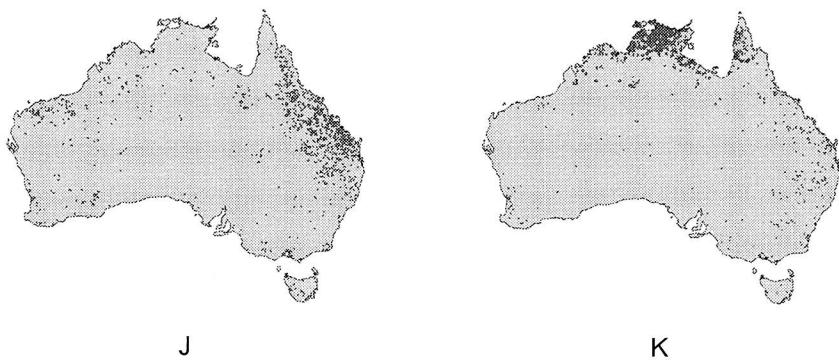
	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	F	F	G	G	H	H
キ	G	H	F	H	F	G
ク	H	G	H	F	G	F

地理総合、地理探究

問 4 次の図5は、オーストラリアにおいて2010年に発生した林野火災の地域を示したものであり、JとKは、1月と7月のいずれかである。図5に関するこ^トがらについて述べた文章中の空欄aとbに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

12

林野火災地域



J

K

NASA の資料により作成。

図5

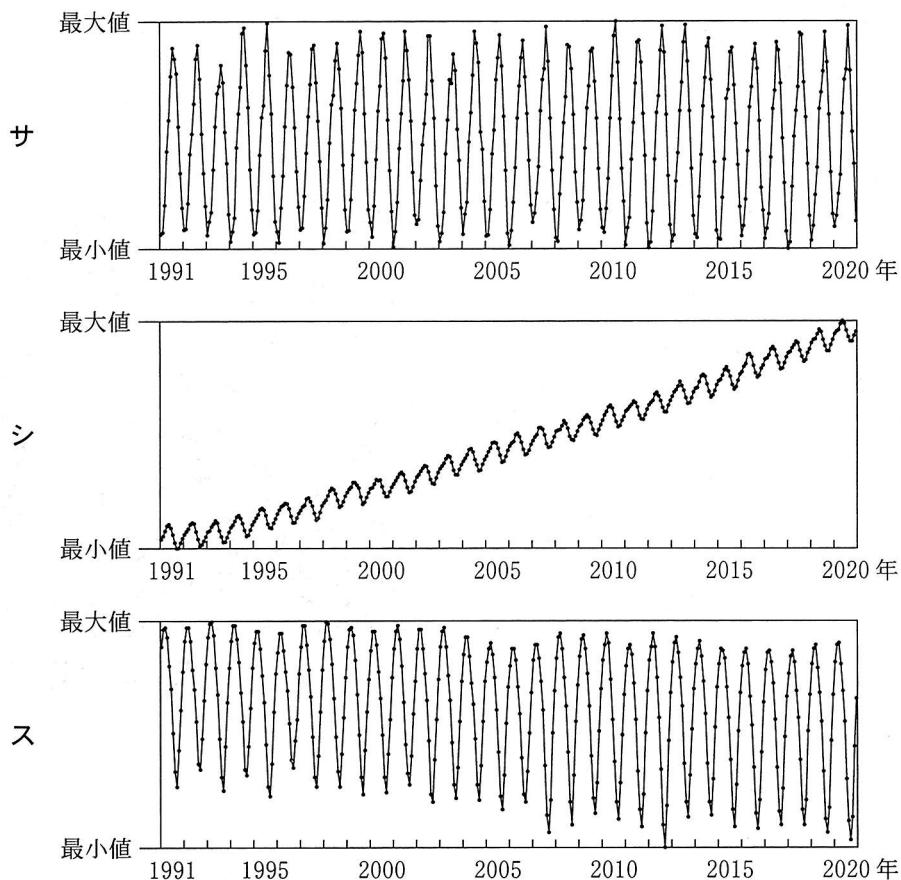
林野火災の発生地域の違いから、熱帯収束帯の季節による移動が読み取れるため、図5中のKが(a)を示したものであることがわかる。気候変動の影響で、沿岸部であっても降水量の減少や気温上昇により、林野火災が増加している。内陸部で火災の発生が少ないので、(b)が主な原因と考えられる。

	①	②	③	④
a	1月	1月	7月	7月
b	湖沼の多さ	樹木の乏しさ	湖沼の多さ	樹木の乏しさ

問 5 次の図 6 中のサ～スは、1991 年から 2020 年の北極の海水面積、東京の気温、ハワイの二酸化炭素濃度のいずれかの月平均値の推移を示したものである*。指標名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

*各指標の 30 年間の平均値は、10.7 百万 km²、16.5 ℃、381.9 ppm である。



国立極地研究所の資料などにより作成。

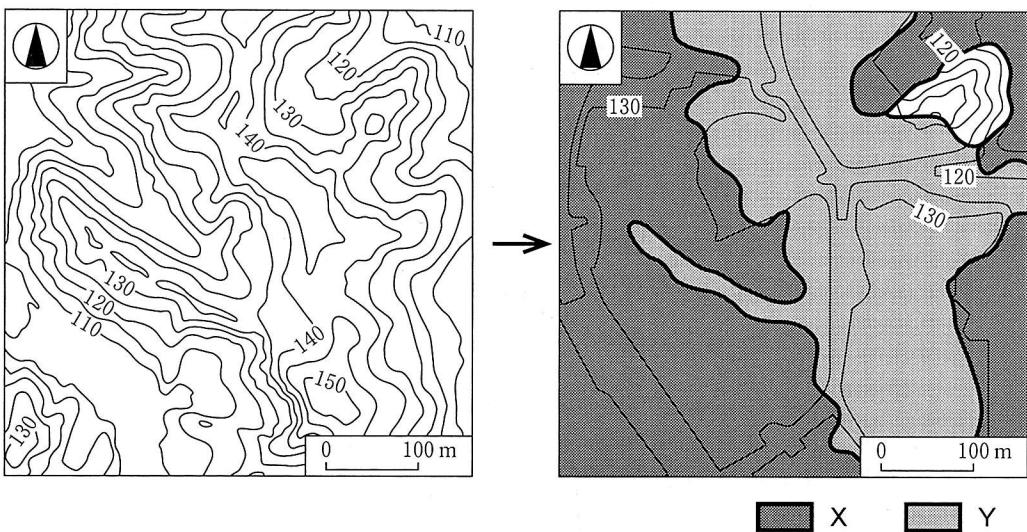
図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
北極の海水面積	サ	サ	シ	シ	ス	ス
東京の気温	シ	ス	サ	ス	サ	シ
ハワイの二酸化炭素濃度	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理総合、地理探究

問 6 日本における国土像を考察する上で、市街地化が進行した丘陵地の地形変化と、それに伴う災害の危険性を検討することは重要である。次の図7は、大都市郊外の丘陵地における開発前後の地形を示したものであり、凡例XとYは、切土地と盛土地のいずれかである。また、図7に関することがらについて述べた文章中の空欄夕にも、切土地と盛土地のいずれかが当てはまる。凡例Xと空欄夕に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

14



田村ほか(1983)などにより作成。

図7

図7のような大都市郊外の丘陵地においては、切土や盛土による人為的地形改変が進行し、平坦地や傾斜の緩やかな土地が造成された。

この地域にみられるような(タ)では、大規模な地震発生時に揺れが大きくなり、災害が発生しやすくなることが懸念される。

地理総合、地理探究

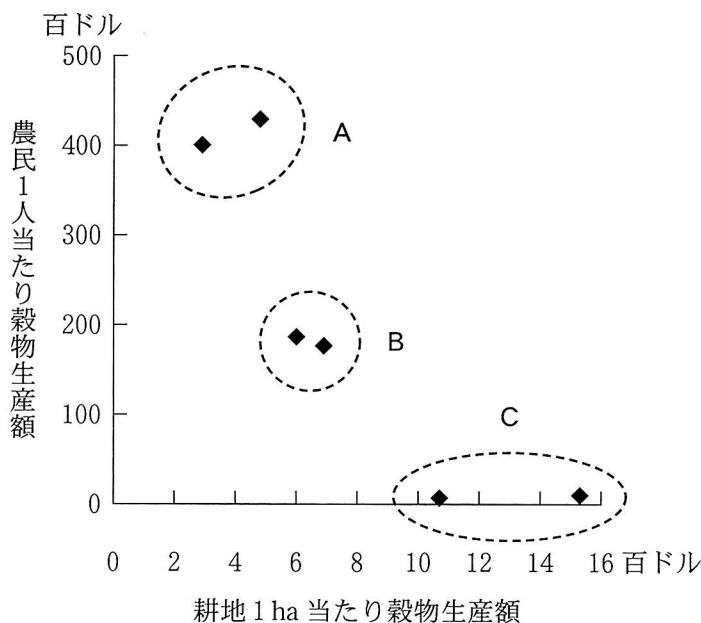
	①	②	③	④
X	切土地	切土地	盛土地	盛土地
夕	切土地	盛土地	切土地	盛土地

地理総合、地理探究

第4問 世界の資源と産業に関する次の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 21)

問1 世界における農業の生産性は、地域によって大きく異なる。次の図1中の国群A～Cは、アメリカ合衆国とカナダ、スリランカとフィリピン、ドイツとフランスのいずれかである。また、後の文ア～ウは、A～Cのいずれかにおける農業の特徴について述べたものである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

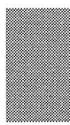
15



統計年次は2020年。FAOSTATなどにより作成。

図1

- ア この2か国では、広大な土地をいかして、輸出向けの穀物などを生産する企業的農業が普及している。
- イ この2か国では、農地の多くを水田が占め、多くの労働力を投入する稻作農業が普及している。
- ウ この2か国では、農地の地力を維持するため、多様な作物を組み合わせた輪作による畑作農業が普及している。

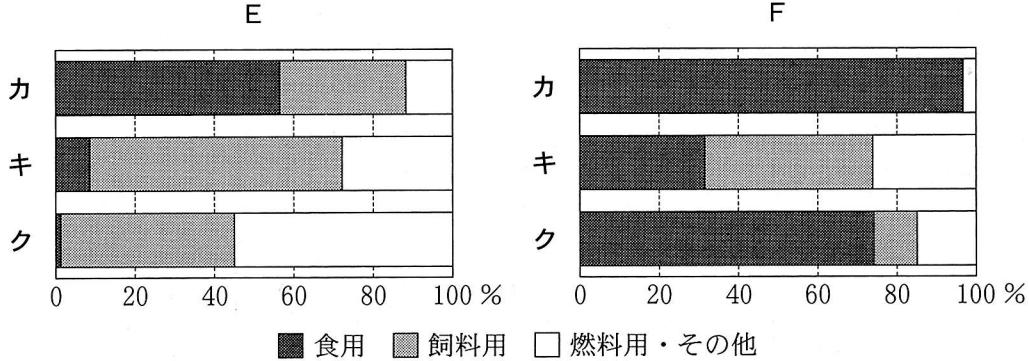


	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 世界で生産される穀物は、食用のみならず様々な用途に消費されている。次の図2は、いくつかの国における穀物消費量の用途別割合を示したものである。図2中のEとFはトウモロコシと麦類*のいずれか、力～クはアメリカ合衆国、ナイジェリア、フランスのいずれかである。麦類とアメリカ合衆国との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

16

*小麦、大麦、エン麦、ライ麦の合計。



統計年次は2020年。FAOSTATにより作成。

図2

	①	②	③	④	⑤	⑥
麦類	E	E	E	F	F	F
アメリカ合衆国	力	キ	ク	力	キ	ク

地理総合、地理探究

問 3 次の表1は、森林資源のいくつかの指標について、世界の上位5か国が占める割合を示したものであり、サ～スは、木材の伐採量*、輸出量**、輸入量**のいずれかである。項目名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

17

*用材の他に燃料用を含む。

**丸太と製材の合計。

表1

(単位：%)

順位	サ	シ	ス
1位	中国 32.5	ロシア 15.8	アメリカ合衆国 11.0
2位	アメリカ合衆国 9.6	カナダ 11.0	インド 9.0
3位	オーストリア 5.0	ドイツ 8.0	中国 8.3
4位	ドイツ 4.1	ニュージーランド 7.4	ブラジル 7.1
5位	ベルギー 3.1	チェコ 7.4	ロシア 5.6

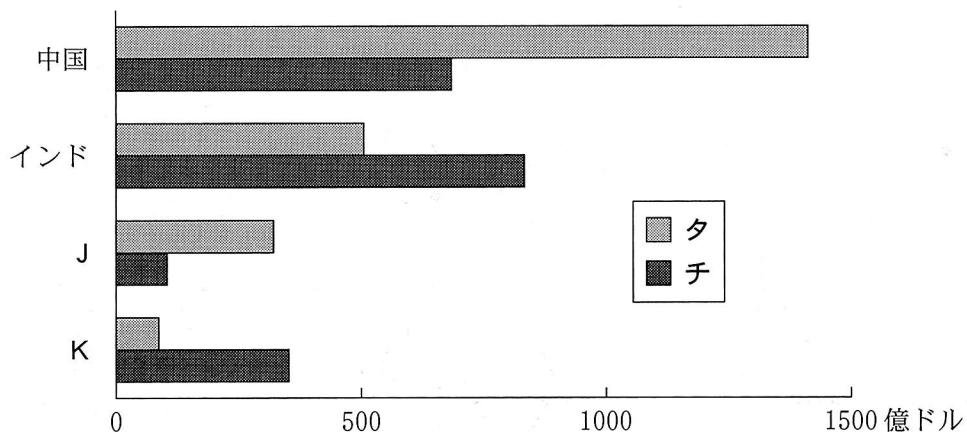
中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。統計年次は2020年。

FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
伐採量	サ	サ	シ	シ	ス	ス
輸出量	シ	ス	サ	ス	サ	シ
輸入量	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 4 新興国や発展途上国の経済発展には、外国企業からの直接投資の受け入れや、国外出稼ぎ者からの送金が重要な役割を果たしている。次の図3中の凡例タとチは、外国からの直接投資の受け入れ額と国外出稼ぎ者からの送金額のいずれか、JとKは、フィリピンとロシアのいずれかである。国外出稼ぎ者からの送金額とフィリピンとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

18



中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。統計年次は2019年。
UNCTADSTATなどにより作成。

図3

	①	②	③	④
国外出稼ぎ者からの送金額	タ	タ	チ	チ
フィリピン	J	K	J	K

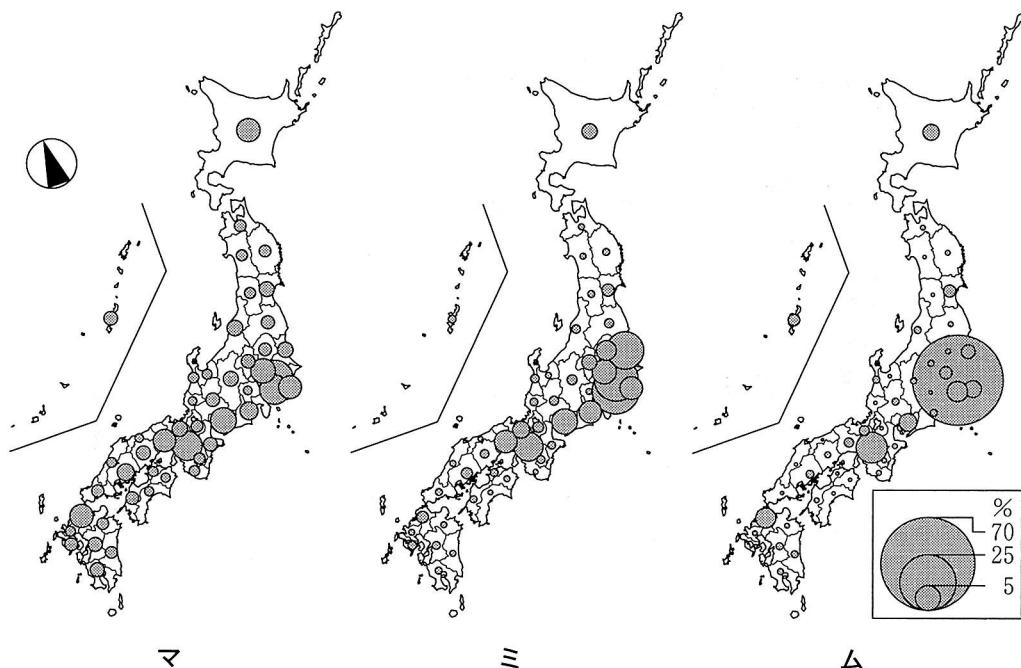
地理総合、地理探究

問 5 次の図 4 は、いくつかのサービス産業の従業者数について、日本全体に占める都道府県ごとの割合を示したものであり、マ～ムは、インターネット関連サービス業*、研究開発事業、社会福祉・介護事業**のいずれかである。業種名とマ～ムとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

19

*ウェブコンテンツ配信業およびウェブサイト運営業などを含む。

**社会保険事業を含む。



統計年次は 2021 年。経済センサスにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
インターネット関連 サービス業	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
研究開発事業	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
社会福祉・介護事業	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

問 6 日本の国土像を考える上で、交通網の発達と各地域の産業構造の変化に着目することは重要である。次の図5は、現在の東名・名神高速道路と東北自動車道の沿線都府県における、工業出荷額第1位であつたいくつかの業種を年別に示したものである。図5中の凡例P～Rは、食料品、電気機械、輸送機械のいずれかである。業種名とP～Rとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

20

東名・名神高速道路沿線の都府県

年

都府県	1950	60	70	80	90	2000	10	20
東京都	■ ■					■ ■		
神奈川県	■ △ △	■ ■	△ △					
静岡県	△ △ △	△ △ △	△ △ △					
愛知県	△ △ △	△ △ △	△ △ △					
岐阜県		△ ■	△ △					
滋賀県	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■					
京都府	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■					
大阪府	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■					
兵庫県		■ ■ ■						

東京都および東北自動車道沿線の県

年

都府県	1950	60	70	80	90	2000	10	20
東京都	■ ■					■ ■		
埼玉県		△ ■ △	■ ■ ■	△ △	● ●	● ●		
群馬県		■ △	■ ■	△ △	△ △	△ △		
栃木県		■ △	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■		
福島県			■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■		
宮城県	● ● ●	● ● ●	● ● ●	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■		
岩手県		● ●	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	△	
秋田県			■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	
青森県	● ● ●	● ● ●	● ● ●	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	● ●	

■ P △ Q ● R

記号のない年は、食料品、電気機械、輸送機械以外の業種が第1位。

『工業統計表』などにより作成。

図5

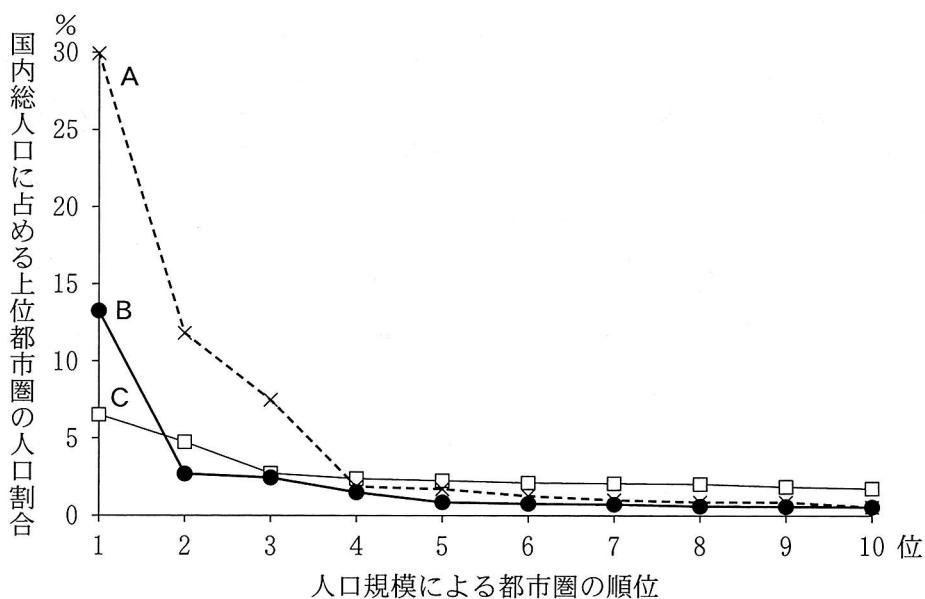
	①	②	③	④	⑤	⑥
食料品	P	P	Q	Q	R	R
電気機械	Q	R	P	R	P	Q
輸送機械	R	Q	R	P	Q	P

地理総合、地理探究

第5問 高校生のハルキさんたちは、都市の規模や機能の違いと、それがもたらす課題について考えた。この探究に関する次の問い合わせ(問1～5)に答えよ。(配点 17)

問1 まず、ハルキさんたちは、日本といいくつかの国の都市圏人口の割合を比較した。次の図1中のA～Cは、日本、アメリカ合衆国、インドネシアのいずれかである。国名とA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

21



統計年次は2020年。Demographia World Urban Areasにより作成。

図1

	①	②	③	④	⑤	⑥
日本	A	A	B	B	C	C
アメリカ合衆国	B	C	A	C	A	B
インドネシア	C	B	C	A	B	A

地理総合、地理探究

問 2 次に、ハルキさんたちは、規模の大きな都市の機能的特徴を考えるために、日本の主要都市に集中する官庁や企業の本社などの中核管理機能の状況を調べた。次の表1は、日本のいくつかの都市における大企業*の本社数と支所数**を示したものであり、①～④は、大阪市、名古屋市、福岡市、横浜市のいずれかである。横浜市に該当するものを、①～④のうちから一つ選べ。

22

*2020年の証券取引所上場企業。

**支社、支店、営業所、事務所、駐在所の合計。

表1

	本社数	支所数
東京都区部	1,324	1,920
①	307	1,471
②	112	1,337
③	75	608
④	37	1,122
札幌市	29	832

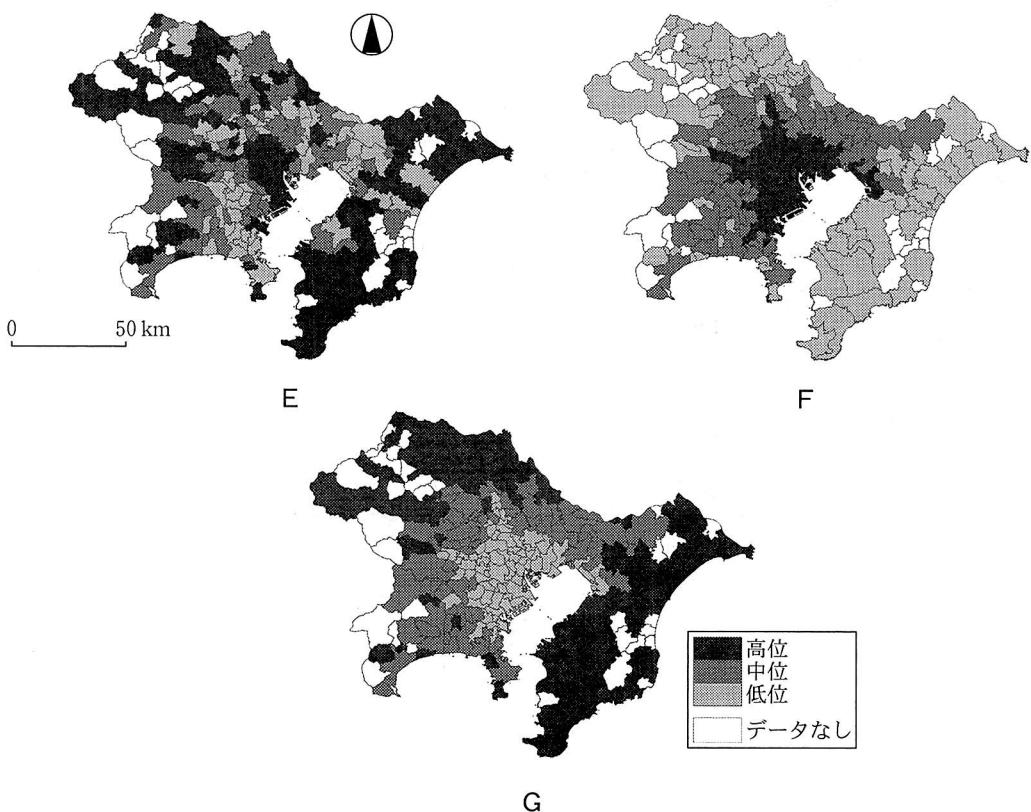
阿部(2021)により作成。

地理総合、地理探究

問 3 ハルキさんたちは、人口や都市機能の集中が大都市での生活に与える影響を考えるため、東京とその周辺の市区町村における住宅に関する主題図を作成した。次の図2中のE～Gは、共同住宅*の戸数、持ち家戸建て住宅の戸数、単身世帯のいずれかの割合について市区町村別に示したものである。指標名とE～Gとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

*アパートやマンションなど、1棟の中に二つ以上の住宅があるもの。



統計年次は2018年。住宅・土地統計調査により作成。

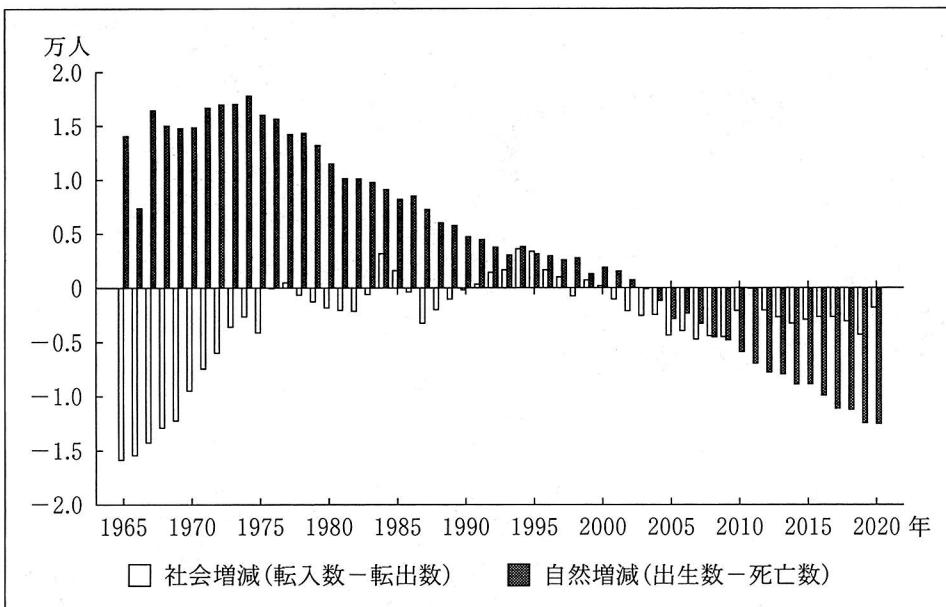
図2

	①	②	③	④	⑤	⑥
共同住宅	E	E	F	F	G	G
持ち家戸建て住宅	F	G	E	G	E	F
単身世帯	G	F	G	E	F	E

問 4 ハルキさんたちは、大都市への人口や都市機能の集中が、国内の他地域にどのような影響を与えたのかを考えるために、長野県を例に次の資料1を作成した。資料1中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

24

資料1 長野県の人口動態とその背景・影響



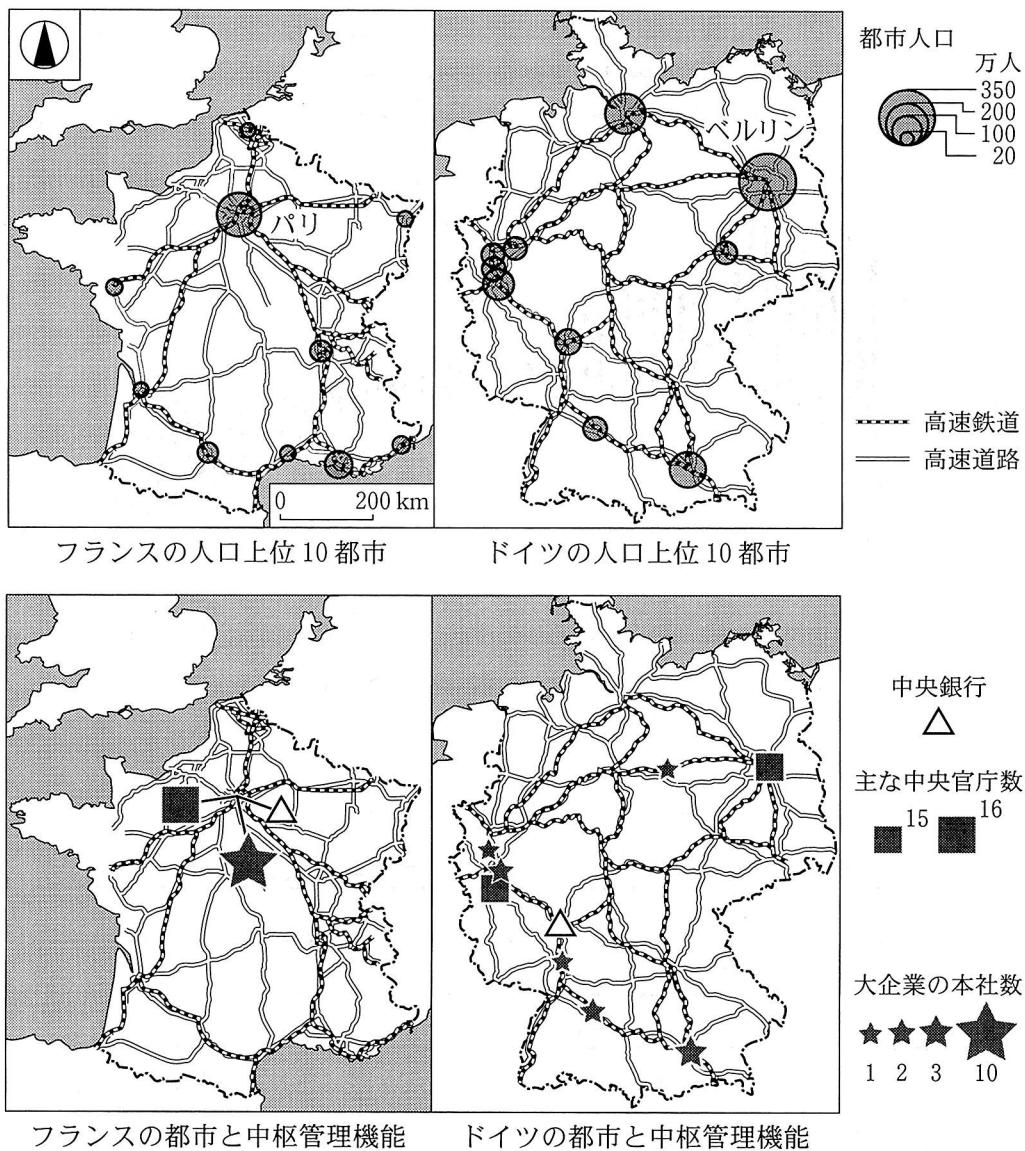
1960年代後半は、社会増減の減少幅が大きい。その背景には、①高度経済成長期に若年層を中心とした人々が、大都市圏へ数多く転出した影響があつたと考えられる。その後、②1970年代後半には、社会増減の減少幅が縮小に向かい、長野県の総人口は横ばい傾向となつた。また、③1980年代から1990年代には、社会増減が減少から増加に転じる期間もみられた。2000年代以降は、社会減が続くとともに、それを上回る数の自然減が生じた。これによって、④過疎化が著しく進行した場所もあると考えられる。

住民基本台帳人口移動報告などにより作成。

地理総合、地理探究

問 5 ハルキさんたちは、これまでの学習を振り返り、国土における都市機能の集中と分散にはそれぞれどのような特徴があるのかについて、フランスとドイツを事例に考えた。次の図3をもとに話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

25



大企業はその国の売上高上位 10 社を示す。

それぞれの地図は同縮尺。Diercke Weltatlas, 2015 などにより作成。

図 3

地理総合、地理探究

先生 「都市間の社会的・経済的な相互関係を都市システムと呼ぶことがあります。都市システムについて考えるために、図3をもとにフランスとドイツとを比べてみましょう」

ハルキ 「① フランスでは、人口第2位以下の都市には大企業の本社や中央官庁は立地していないですね」

リカコ 「ドイツでは、人口100万人以上の大都市が複数あり、② 大企業の本社が西部と南部の都市にも分散して立地しています」

先生 「それぞれの国の都市システムには、どのような長所があるでしょうか」

ミチオ 「③ ドイツのような都市システムの方が、災害などが発生して首都が機能不全になった場合、その影響が小さいと思います」

リカコ 「④ フランスのような都市システムの方が、首都における過密問題や住宅問題などといった都市問題が緩和されやすいと思います」

ハルキ 「最近の日本の動向についてもっと調べてみたいですね」

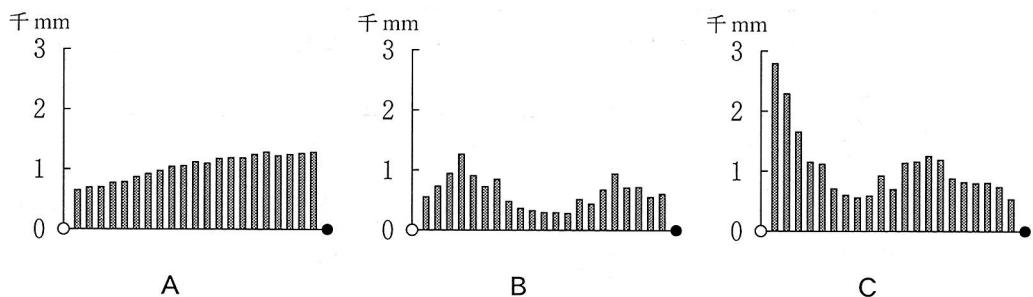
地理総合、地理探究

第6問 北アメリカと中央アメリカに関する次の問い合わせ(問1～5)に答えよ。

(配点 17)

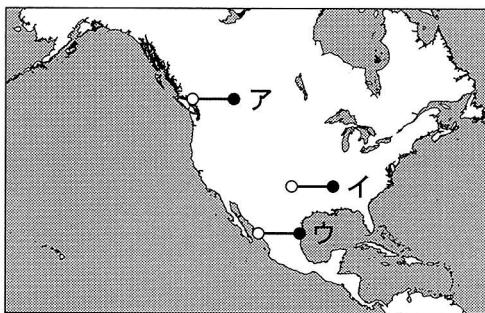
問1 次の図1中のA～Cは、後の図2中の線ア～ウのいずれかに沿った年降水量の推計値を示したものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

26



1991～2020年の平均値。ECMWFの資料により作成。

図1



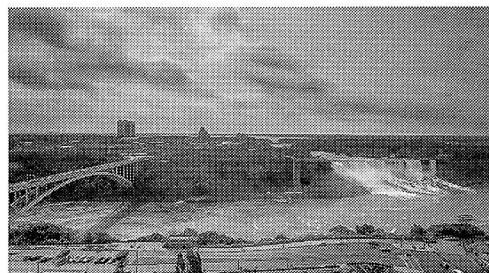
線の長さは経度10度分に等しい。

図2

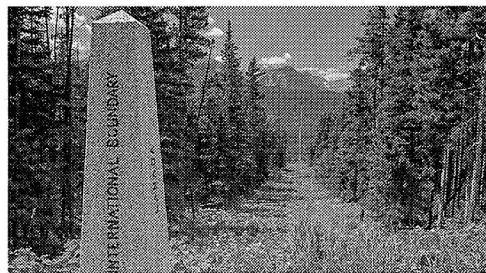
	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 国境の景観は、国家間の関係を反映している。次の写真1中のカ～ケは、アメリカ合衆国と、カナダまたはメキシコとの国境周辺の景観を撮影したものである。写真1の景観に関することがらについて述べた文として下線部が適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

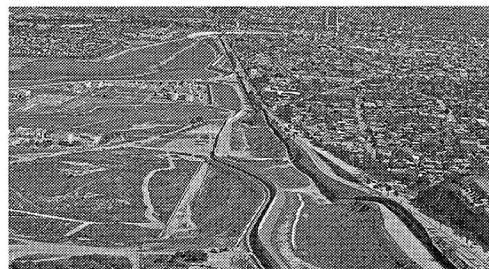
27



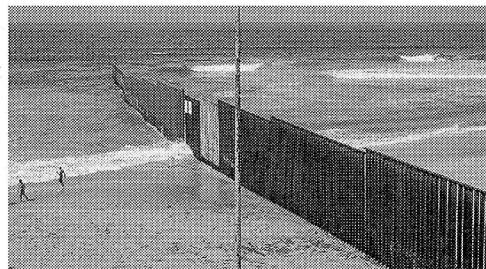
カ



キ



ク



ケ

写真1

- ① カの国境にある巨大な滝周辺では、観光目的による人々の往来が多くみられる。
- ② キの直線的な伐採地は、国境を明確にする目的があり、分水嶺に沿った自然的国境である。
- ③ クのメキシコ側には、建物が密集しており、アメリカ合衆国での就労などを目的とする多くの人々が集住している。
- ④ ケの国境にみられる壁は、不法入国者への対策としてアメリカ合衆国が建設したものである。

地理総合、地理探究

問 3 中央アメリカの国々には、歴史的な背景などにより社会構造に違いがみられる。次の図3中のサ～スは、中央アメリカの主な国*における国土に占める農地面積の割合、GDPに占める第三次産業の割合、人種・民族構成に占めるアフリカ系の割合のいずれかを示したものである。指標名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

*国土面積が1万km²以上の13か国。

サ



該当指標の割合
その他の割合

シ





統計年次は、国土に占める農地面積の割合が 2020 年、GDP に占める第三次産業の割合が 2017 年、人種・民族構成に占めるアフリカ系の割合が 2007～2020 年。

FAOSTAT などにより作成。

図 3

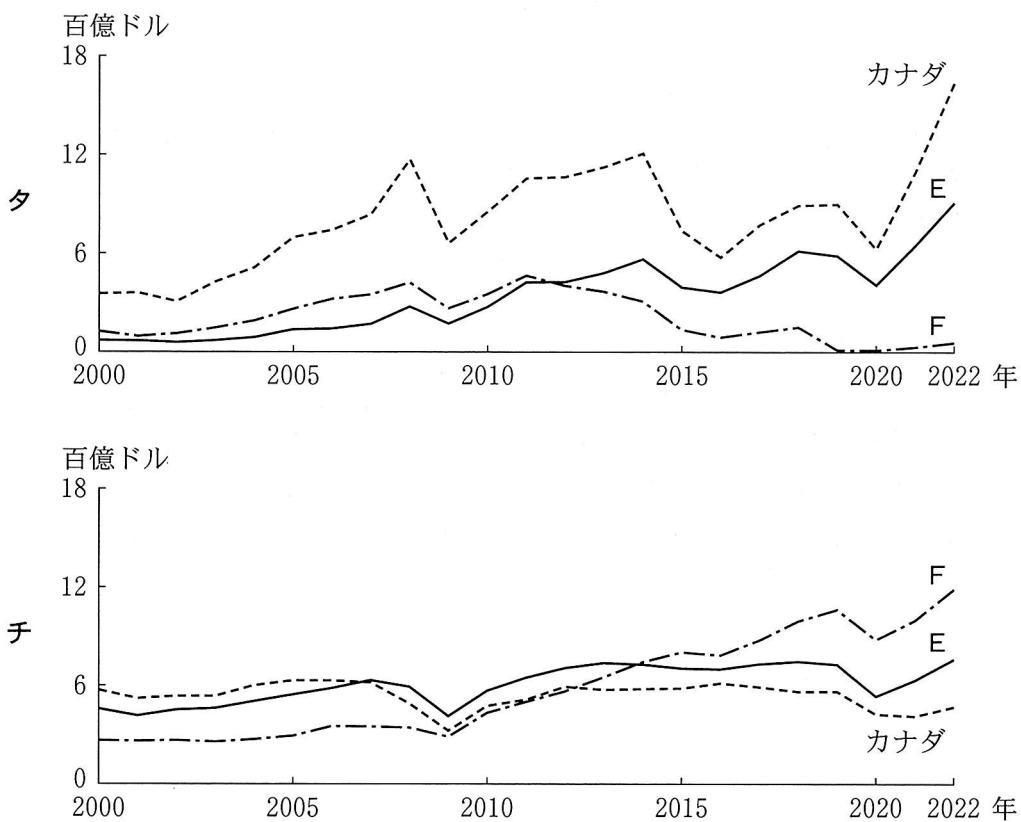
	①	②	③	④	⑤	⑥
国土に占める農地面積の割合	サ	サ	シ	シ	ス	ス
GDP に占める第三次産業の割合	シ	ス	サ	ス	サ	シ
人種・民族構成に占めるアフリカ系の割合	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理総合、地理探究

問 4 次の図 4 は、いくつかの品目について、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコのそれぞれの国から他の 2 か国への輸出総額の推移を示したものである。図 4 中のタとチは自動車*と石炭・石油・天然ガスのいずれか、E と F はアメリカ合衆国とメキシコのいずれかである。自動車とメキシコとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29

*自動車部品を含む。



UN Comtrade により作成。

図 4

	①	②	③	④
自動車	タ	タ	チ	チ
メキシコ	E	F	E	F

地理総合、地理探究

問 5 国境を越える旅行者の動向には、経済水準や地理的条件などによって地域性がみられる。次の表1中のマ～ムは、カナダ、キューバ、メキシコのいずれかである。国名とマ～ムとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

30

表1

(単位：%)

	インバウンド旅行者数に占めるヨーロッパからの旅行者数の割合	インバウンド旅行者数に対するアウトバウンド旅行者数の比率
マ	29.5	15.2
ミ	14.2	120.2
ム	4.7	44.0

統計年次は2019年。UNWTOの資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カナダ	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
キューバ	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
メキシコ	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ